

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとば6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇サマースクール(長期休暇対策事業) 2~4P
~泣いても・笑っても・お喋りしても大丈夫~
「おたがいサマーの映画上映会」

ボランティア活動者
田中 花乃・安永 洸希・下津 碧己
コーディネーター 船寄 靖子

◆新規モデル事業 5P
「地域でのパソコン出前講座」
北九州市障害福祉ボランティア協会 藤川 きく代

◇MYフレンド 6P
「多様な価値観とは個性を理解すること」
株式会社シダー 佐藤 稔さん

◆復活します! 7P
「続・ボランティア物語 はじまり -1-」
北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 宮崎 浩

◆お知らせいろいろ 8P



座標軸

例年以上の猛暑の中を我慢しながら過ごされた夏だったと思います。季節の移り変わりは正直で幾分涼しさも感じられるようになり、暑さ寒さも彼岸までと言われます。あと少しです。頑張りましょう。さて、普段の生活にあって、温かくとも寒くとも慣習や催事は暮らしの中、当たり前に行われていきます。間近なところでは、8月のお盆に先祖供養のため墓参りに行きました。そこで、知り合いの知的障害の方に会いました。お互い同じ墓地であったことを初めて知り言葉を交わしました。

その後、しばらくして水場のところにしゃがんでお供えする花を揃えている彼を見かけました。先年、大好きだったお父様を亡くし、毎月お墓参りをしに墓地を訪ねていると聞き感心しました。

映像で説明できないもどかしさを感じますが、本当にやさしく花に語りかけるようにして丁寧に揃えて墓前に供えていました。当たり前前の姿で別に特別なことでもないかも知れません。穏やかではのぼとした時間が流れるような雰囲気でした。聞けば家族と一緒に来たのでもなく、花は自分の給料で買ったきたものだと言ってくれました。

彼にとっては、特別なことをしているのでもなく、生前に語り合っていた時と同じようにお父様に話しかけていたのかも知れません。微笑ましく羨ましい場面でした。

(K.O)

サマースクール(長期休暇対策事業)
 (泣いても・笑っても・お喋りしても大丈夫)
おたがいサマーの映画上映会

コーディネーター 船寄 靖子

【映画館は
 お好きですか?】

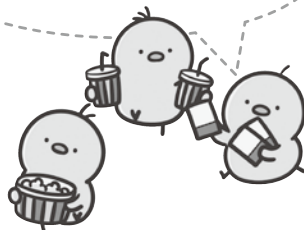
私には映画館が苦手な友人がいます。話を聞くと、「2時間近くおとなしく映画館で座っていられない」とのことでした。

サマースクール(以下…サマー)の映画会は最新の作品を映画館でお子さんにちに見せたいという保護者の方たちの要望から始まったと聞いています。

10年近く前に当時異例のロングランだったディズニー映画『アナと雪の女王』も映画館で「家族と二緒に観たい」と連絡を受け夏休みの前でしたが、この事業の委託先である北九州市に相談し映画会を行った経緯があります。

今年の7月と8月に行った映画会について、実際にボランティア活動をした学生さんに感想をいただきました。

CMも極力 カット
 時間になったら始まります



『ボランティア体験』

北九州市立大学法学部

田中 花乃

7月31日に初めて参加させていただいたサマースクールボランティアは、私にたくさ

んの学びや考え方の変化をもたらしにくれて、とても実りのある経験となりました。

私がこのボランティアに参加しようと思ったのは、大学で子どもの発達や心理、犯罪傾向等を研究していく中で、将来、好奇心旺盛で成長の途中段階である子どもたちを支えられるような人になりたいと思いい、子どもと関わり支えられるようなことをしようと思ったことがきっかけでした。そのためボランティアに関する知識もなく、一緒に参加する友人もおらず不安を抱えての参加でした。しかし、当日すぐに同じボランティアが話しかけてくれて、とても心が温かくなりました。

今回のボランティアは、障害のあるお子さんやそのご家族が映画を見やすい環境、楽しめる環境を作るといった内容で、その補助をさせていただきました。私は主にチケットの確認と、終了後の保護者

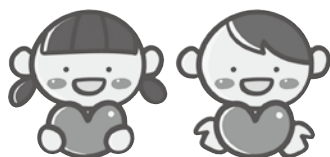
アンケートの回収、館内への誘導を担当しました。

その中でも実際に映画館のお部屋にボランティアも入ってみんなで映画を観たことが印象に残っています。一般の映画館は、普段は耳にしないような大きな音が鳴る、暗い部屋で保護者の顔や存在が見えにくい、という非日常空間であるため、慣れていないと落ち着かず声を出したり泣いたりしてしまうことも多く、障害のある方は利用しにくいといった現状があることを知りました。それらを踏まえて、様々な工夫がされていることを教えていただきました。

まず技術的などころでは、音は小さめに、照明は明るくすることで、映画を鑑賞する方々の不安を軽減させていました。また気持ち的な部分では、お喋りOKで嬉しい感情も悲しい感情も我慢せず表に出して良い、途中から入りしてもお互い様だから

問題ない、という風にとってもアットホームな環境づくりがされていました。

以上の工夫によって、今回映画を観に来てくれたお子さんがとても楽しそうにしていたこと、ご家族の方々もとても喜んでくださり、感謝の言葉を伝えてくれたことが嬉しかったです。



映画でアンパンマンが登場したとき、皆が「アンパンマンだ!」「かっこいい!」と、大きな声ではしゃいでいて、それが本当に微笑ましく、会場全体が和やかな空気になったことにとっても胸が熱くなりました。

また、終了後の保護者アン

ケートを回収しているときに
お子さんから「楽しかった！」と、保護者の方からも「ありがとう」「またお願いします」という声をかけていただいたときに、このような環境づくりや活動が様々な場面に広がるといいなと心から感じました。

今回のボランティア体験を通して、助け合いや工夫によって、多くの人を幸せな気持ちに、笑顔にできるということに気が付きました。今後このような活動が広まる
と良いと感じたし、この体験を通して、自分もそのような活動の一翼を担いたいと強く思いました。



今回、僕は映画上映会の活動で誘導をしました。事前の説明では、障害をもつ人たちが上映中の館内が暗かったり音が大きかったりするとパニックになってしまうことや上映中に声を出してしまうなどの理由で普段では映画館で映画を観ることができないため、このような場を設けているということをお伝えしていただきました。

『視野を広げることの大切さを知った』

九州国際大学付属高等学校

安永 洸希

僕の母は、障害をもつ人がいる施設で働いており、母に仕事の話をしてもらっていくうちに障害をもつ人について

で今回の活動に参加できて良かったなと心から思えました。

活動を通して、普段ではできないような体験をするこ
とができただけでなく、僕が今までに持っていた知識や考え方の幅を広げることができました。

例えば、障害をもつ人たちについて考える機会や不便さを学ぶことはよくありますが、その周りの家族などにも視野を広げることが大切だと思えるようになりました。
自分自身の成長にもつながられるような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございます。

『鑑賞する立場になつて感じた配慮』

九州国際大学付属高等学校

下津 碧己

僕は、小学生の時に特別支援学校の方との交流会があり、そこで障害をもつ方々と触れ合ったことがきっかけ

で障害をもつ方々に関心を持つようになりました。

今回のサマースクールボランティアの募集を学校で知り、ぜひお手伝いしたいと思
い参加させていただくことにしました。

そのなかでも、僕は8月20日に映画会のボランティアに参加させていただきました。

ボランティア活動は初めてで慣れないことも多くすごく緊張していましたが、ボランティア協会の方々やほかの参加者の方々に支えていただき、大きな失敗もなく活動を行えたことは本当に嬉しかったです。映画会では普段の映画館とは違い、照明も明るくドアも常時空いたりしていました。

僕たちボランティアも映画を観させていただきましたが、鑑賞する立場になつてみて、障害をもつ方々への配慮を肌で感じる事ができました。

活動を通して、改めて障害

をもつ方々の不自由さを知るとともに、そのような方々との関わり方やそのようなことには僕たちができる
考えさせられる貴重な経験となりました。

隣の人の顔が見えると安心だね~😊



コミュニケーションなどを通して密接に関わっていくことの重要性も再認識させられました。今回のボランティア活動で本当に様々なことを学びました。
貴重な経験をさせていだ
だいたことに心から感謝したいです。

サマースクールを 担当して

【活動の対価】

ボランティア活動は無償の活動です。それでも活動の現場で障害のある子どもとご家族と直接関わることでしか感じられないことや、普段は関わることのない、高校生や大学生、年齢や学年の違う学生、社会人の活動者、ボラ協の職員と関わる中で学校では学ぶことのできないことを伝えられるように工夫したいと考えながらイベントを企画しています。



障害のある子どもたちができないことや苦手なことを伝えますが『どうやったならで

きるか』という代替え案を意識して伝えるように心掛けています。

ボランティア活動に対してお金を支払うことはありませんが、活動してくれる皆さんが活動して良かった、進学や就職を考える際に少し思い出していただけなら、ボランティア活動の対価に値するのではないかと個人的に思っています。

【ダイバーシティ とは言いつつも】

「(障害のあるお子さんがいても)家族で映画を観に行ったら良いよ」と簡単に思うかもしれませんが、映画館という非日常の空間で「初めての場所で子どもが泣いてしまったら」「子どもが大きな声を出してしまったら」他のお客さんに迷惑がかかってしまう…と気にしてしまう保護者の方は少なくありません。

ボランティア活動の感想に

書かれていた通り、サマーの映画会は「お互い様」の安心映画会です。

卒業直前に「最後の映画会になりました、卒業しても続けてほしい」と手紙をいただくこともありました。「サマーの映画会でしか映画館で鑑賞することができない」という思いが感じられます。

一方で、映画会に来てくれた家族を映画館で偶然見かけました。いろいろな映画が観られるようになって、映画会を卒業したのかもしれないと嬉しくて、ちよつと寂しい複雑な気持ちになりました。

【多様の選択肢】

「映画は静かに観たい」「ポップコーンの音も気になる」と

いう意見は私の周りでも多く、映画会などのイベントを企画しながら、私自身も音が気になり「ああ、嫌だな…」と思うこともあります。ですが、最近は応援上映など

「声出し、お喋りOK」の上映も行われているようです。

一人で観る時は静かに、友人たちと観る時はお喋りOKの上映というように、映画の字幕版、吹替版の様に鑑賞方法を選べたら映画の楽しみ方の幅が広がるのではないのでしょうか？障害のある子どもや小さな子どもがいる家族も、誰にも気兼ねせず映画を楽しめるようになると思いました。

【SNSでの拡散】

映画会の写真をSNSに載せてくれたお母さんから声をかけられました。SNSを見た未就学児のお母さんが「私も参加したい」と言ってくれたさつたようです。

みんなが安心できる映画会やサマーのイベント、未就学児や卒業生の方にも「一緒に楽しんでいただける工夫ができないか、これからも考えていきたい」と思います。

広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
http://www.sakaieiei.co.jp/

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

新規モデル事業
地域での
パソコン出前講座

令和5年6月24日・7月1日・8日に「障害のある人へのパソコン等の操作支援講座」(土曜日全3回)を、ウエルとばたに加えて、沢見市民センター(戸畑区)と足立市民センター(小倉北区)の3カ所で開催しました。

この講座は、ボランティア協会が北九州市の委託事業として行っている「パソコンサポーター養成・派遣事業」(以下パソコン事業)におけるパソコンサポーター養成講座の二環として実施したものです。

【広報の難しさを実感】

市政だよりの掲載や市内全域の市民センターへのポスター配布を始め、広報活動を重点的に行ったのですが、問い合わせや応募される方たちは、障害のある人たちばかり

りということが起きました。これは講座のタイトルの「障害のある人へのパソコン等の操作支援講座」としていただくためでしょうか。誤解を招く言い回しであったことを反省しつつ、一方でパソコン事業の必要性と広報活動をもっと強化すべきだと実感させられました。

【地域とつながれた!】

今回の出前講座は、初めての試みとして、2つの市民センターにご協力をいただいたの開催となりました。この取り組みは、ボランティア協会の目標である「地域を耕し福祉の風土を広げる」第一歩となり、今後に期待できる成果となりました。

各会場合わせて20名の方が受講され、経験豊富なパソコンサポーターが講師をしてくださいました。内容は「障害のある人にとつてのICT」「障害の特性に応じたサポート方法について」「障害のある

人に便利なアプリ」等の講義を行いました。講師のサポート体験を交え、障害のある人に便利な「機器」「ソフト」「アプリ」を実際に操作しながら分かりやすく紹介し、受講生には操作体験もしていただきました。



沢見市民センターでの講座の様子

受講生の感想では「障害のある人へのICTに興味を持った」「関わりのある当事者や身近にいる人にパソコン事業を紹介してみたい」また「歳を重ねると色々障害が出てくるので『情報弱

者』ということでは障害者も高齢者も一緒ですね」という声もありました。

受講生の中には、まちづくり協議会の役員の方々や市民センターのパソコン教室で講師をしている方もいて、さまざまな提言をいただきました。

今回の事業を通して障害のある人が地域とつながる「きっかけ作り」の可能性を見出すことができました。

ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございます。

「令和5年度パソコンサポーター養成講座」は令和6年1月に開催予定です。

活動を通して「新しい出会いと学びで視野が広がった」というサポーターの声もいただいています。ともに「情報社会のバリアフリーを目指して」障害のある人へのサポートをしてみませんか。

北九州市
障害福祉ボランティア協会
藤川 きく代

【広告】 明るく・元気に・前向きに! 困ったときはお互い様

業務内容

安全標識作成、資料の電子化、データ処理、印刷各種、各種コピー、大型カラー出力、印刷物(ポスター、記念誌等)の企画・デザイン

私たちは一人ひとりが生き生きと働ける職場づくりを実現します。



三菱ケミカル(株)100%出資特例子会社
化成フロンティアサービス株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1

TEL080-2366-5775 FAX093-643-4393

<https://www.kfs-mc.co.jp/>





今回は、北九州市障害福祉ボランティア協会(以下ボラ協)の会員で「障害者の地域社会参加推進会議」のメンバーです。

地域でご活躍中の佐藤さんをご紹介します。

―仕事は―

主に介護保険の事業を展開している「株式会社シダー」の本部に所属。七年前に障害者就労支援事業所を立ち上げ、作業所を運営しています。福岡県局長でもあります。

―高齢者と障害者の違いは―

高齢者は介護・リハビリそれぞれ専門職が専門性を発揮する環境ですが、障害者の就労・雇用は、当事者それぞれができることに取り組むことです。

―具体的にはどんな仕事を―

門司区と小倉北区のシダーの入居施設の部屋・フロアー掃除、ベッドメイキング等。小倉南区の作業所では、タオルやスタッフの制服の洗濯、アイロンがけをしています。月曜日～土曜日は八時半～十七時の勤務体制ですが、障害や生活の状況に応じて決めています。

―研修があまり―

すか―

特にありません。入社後体験してもらい、少しずつ慣れてもらいます。

―どこからの紹介ですか―

四～五年前から特別支援学校や北九州高等学園から実習生が数名来ていて、その内二名は就労しています。他にハローワーク、障害者相談支援事業所から問い合わせがあります。現在は当事者十五名とサポートスタッフ六名です。洗濯物の単価は、一枚いくらと決めています。

―地域での活動は―

企救丘校区のまちづくり協議会の会長をしています。娘二人が小中学校の時にPTAの役員をしたのですが、子ども達を地域で見守り育てたいと思い、自分たちの世代がリードしなと活動が停滞すると危機感を感じました。先達には意見を

「多様な価値観とは個性を理解する」とい



株式会社シダー 佐藤 稔さん

見を出して指導してもらい、自分達世代が受け継いでつないでいくという役割分担です。

―活動内容は―

イベントの開催、見守り、パトロール等。九月に市民センターで初めてタウンミーティングを行います。災害時の協力や何に困っているのか、ニーズ等当事者に参加してもらって直接聞く場を設定します。参加層が異なるので昼夜二部制です。



―周知方法は―

町内会入会者は市政だよりに入れ配布。回覧板を回す。ポスターを作り町の掲示板や登録している店舗に掲示する等です。

―心がけている事は―

参加する人が身構えず、障害者に自然に接することができるといいと思います。以前職場の利用者にお祭りに参加してもらったことがありましたが、日頃の生活の中で自然と理解し分かり合える機会を作りたいと思っています。

―趣味は―

スポーツが大好きです。社会人なのでなかなか参加できませんが、ソフトバレーボールや軟式野球のチームに所属し、試合に参加しています。ロードバイクも楽しんでいきます。コロナ前は周百kmぐらいのレースに出ていました。通勤は車ですが、休みの日は二十～三十km自転車に乗って体を鍛えています。

聞き手 森山幸恵

【広告】

損害保険・生命保険から年金まで各種保険のトータルプランナー

- リスクマネジメント業務
○防犯・防災・防護 取扱
○機械警備システム 取扱
○危機管理セミナー

Best Choice logo with phone number 671-3663 and address in Fukuoka.

シニアライフカウンセラー

シニアライフを総合的にサポートするオールラウンドのエキスパート相談員

4人に1人が65才以上という超高齢化が進む現代社会において、住まいのことや健康、相続、遺言、ご家族のこと、終活のこと、不要品整理、保険、葬儀、お墓のことなど、高齢者が抱える様々な困りごとや悩みごとを総合的にサポートし、解決へ導いていくのがシニアライフカウンセラーの役割です。

ボランティア物語復活します!!

北九州市障害福祉ボランティア協会
常務理事 宮崎 浩

今年度、36年ぶりにボランティア協会に戻ってきました。思い返せば、大学を卒業して最初に勤めたところがボランティア協会、よもや社会福祉の道に進むきっかけとなった「わたぼうしコンサート」を運営していたころとは思いませんでした。

「わたぼうしコンサート」は、奈良の「たんぼほの会」が行っていて、障害のある人が綴った詩に「歌うボランティア」がメロディを付けて演奏します。

この街でこのコンサートをやろうと呼びかけたところから、北九州市で障害者による福祉のムーブメントが巻き起こりました。

コンサートの開催まで難関が立ち塞がるにつれ、障害の有無を越えて多くの仲間たちが結集してきたのです。

それは、まるでたんぼほの綿毛が飛んで根付くように「わたぼうしコンサート」から「福祉の風土づくりを進める会」へとつながりました。そして、この会こそが、ボランティア協会の前身だったのです。



ボランティア協会を一旦退職してからは、救護施設、保育園、老人ホームと、言わば「ゆりかごから墓場まで」という福祉現場で働いてきました。

これら体験したことなど今号より再開した「続ボランティア物語」に寄稿していきたいと思えます。

続・ボランティア物語

はじまり-1-

「わたぼうしコンサート」彼女に誘われるままどんなものかも知らずについて行った。

小倉市民会館の一番後ろの席、足を投げ出し座った。ポケットからミントのガムを取り出し口にしました。

「ねえ志望校提出した?」と彼女が聞いてきた。

「白紙で出したら呼び出しくらった」コンサートまで来て受験の話かよと会話を閉ざすよう舌打ちをした。

かかとを踏んだ革靴。薄っぺらな革靴。やる気もなく、ただ学校に行っていた。受験のプレッシャーにあおられ机にかじりつく同級生が愚かに見えた。

開始のブザーが鳴り、会場が暗くなると幕が上がリ、音楽が聞こえてきた。壇上スポットライトの中、車いすに座った男性がいた。

それは、初めて障害者を見た衝撃的な場面だった。彼が、今流れている曲の

作詞を手がけたという。

この後、次々に杖の女性や目の見えない男性が、ステージに出ると作詞した曲が演奏されていった。

その音楽に鼓動を感じると、「何?」「何?」が頭を殴りつけ通り過ぎて行った。

「どうしてだろう」それはとても痛くて痛くて、たまらず涙がこみあげてきた。

周りのせいだと理屈をこねて、座り込んでいる自分に声が届いたようだった。

「始めないと始まらない」

ぬぐってもぬぐっても涙があふれて止らない。こんなに涙は熱いものなのか。

フィナーレでは、ステージに上がって「ふんわりフワフワ」と、わたぼうしの歌を一緒に歌っていた。

将来、福祉の道に進もうと決めた時、口の中しよっぱいガムの味がした。

広告

車いすバスケットボール チームメンバー募集!

希 BASKET BALL TEAM ★★★★★
足立クラブ
北九州足立クラブ
CORE Corporation

自分を信じて!
仲間を信じて!

KYUSHU DOLPHIN

CORE Corporation 有限会社コアは、上記バスケットチームを応援しています

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

竹田 英樹

北九州門司みなとライオンズクラブ

国際ソロプチミスト北九州・南

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

池田 信人 伊藤 知子 岩淵 恵子 牛島実基子

下田 猛 杉本 和代 永手 靖志 宮本 至

社会福祉法人あすなる学園 株式会社イマナガ

株式会社サニーライフ とびはた村

株式会社ジエネット北九州物流営業グループ

北九州市保健福祉局障害福祉企画課

八幡西区役所保健福祉課高齢者・障害者相談係

八幡東区役所保護課

○バザー品

岡村 正子 セルフヘルプ情報・北九州

おしらせ

**2024年
1月14日(日)**

**ボラ協
『40周年
記念大会!』**

ウェルとばた
多目的ホール

懐かしいボラ協の
メンバーに会えるかも
みんな参加してね♥

協会カレンダー

8月

20日(日) サマースクール映画会

24日(木)

障害福祉団体連絡協議会 市との意見交換会に参加(岡田・古賀)

30日(水)

第16回障害者の地域社会参加推進会議

1日(金)

北九州市障害者自立支援協議会総会(竹田)

2日(土)

知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座(宮崎)

8日(金)

さくがおかタウンミーティング「声を聴く」(共催事業)(宮崎)

13日(水)

常任委員会

20日(水)

まちづくりネットワーク定例会(竹田)

23日(土)

(公財)北九州市身体障害者福祉協会創立50周年記念式典(岡田・古賀)

25日(月)

第3回法人育成会虐待防止委員会(古賀)

27日(水)

国際車いすバスケットボール大会実行委員会(竹田)

28日(木)

北九州市障害者芸術祭実行委員会(船寄)

30日(土)

車いすバスケットボール大会会場運営班実行委員会(古賀)

10月

障害のある人の地域参加推進講座①(協働事業)(村山・古賀)

3日(火)

福岡県障害福祉情報センター障がい者福祉専門委員会(竹田)

7日(土)

車いすバスケットボール大会ボランティア事前研修会①

22日(日)

車いすバスケットボール大会ボランティア事前研修会②

25日(水)

中間支援組織連絡会(宮崎・竹田・鈴木)

11月

定例理事会

5日(日)

東部障害者福祉会館「ふれあい広場」バザー出展

8日(水)

常任委員会

9日(木)

第18回北九州市小学生車いすバスケットボール大会(協力事業)

10日(金)

第20回北九州チャンピオンズカップ

11日(土)

車いすバスケットボール大会(協力事業)

12日(日)

市制60周年記念ふれあいフェスタ2023 バザー出展

14日(日)

ボランティア協会40周年記念大会